

キャリアパス表（職務・職責・職務内容）

等級	職位	経 験 年数	具体的業務	職責	必要な資格・免許・ 研修及び能力	求める能力	給与	役職手当
1	介護職員	1 年 ～	<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有したうえでのケアの提供 ・バイタルチェックが出来る。 ・送迎が出来る。 ・行事の企画が出来る。 ・事業所の運営方針の理解が出来る。 ・緊急時の対応が出来る。 ・地域に馴染み、地域活動への参加が出来る。 	新規採用の職員の為、 上司や同僚の助言やサポートを受けながらサービスを提供できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・OJT 研修 ・OFFJT 研修 ・認知症基礎研修 ・法人内研修への積極的参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本介護技術 ・日常生活支援技術 ・介護記録作成 ・送迎方法 ・送迎シフトの理解 ・接遇マナー（接遇・言葉遣い・職員同士の会話） ・コミュニケーション力・傾聴・寄り添い 	172,000 円 ～ 180,600 円 パート職員 1,100 円～ （処遇改善 手当を含む）	
2	リーダー	3 年 ～	<ul style="list-style-type: none"> ・介護職員の業務が確実に行える。 ・後輩の指導が出来る。 ・機器の使用の指導が出来る。 ・各種マニュアルの整備、管理が出来る。 	上司の指示を受けながらも日常的業務を主体的に実施できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・実務者研修 ・認知症実践者研修 ・法人外研修への積極的参加 ・介護福祉士 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護職員の能力がある。 ・介護保険法の理解が出来る。 ・文章作成力がある。 	180,600 円 ～ 189,200 円	
3	主任・副主任	4 年 ～	<ul style="list-style-type: none"> ・S級職員の業務と主任に求められる能力 ・苦情処理、身体拘束、虐待防止責任者 ・ご家族への信頼構築 ・担当ケアマネージャーへの連絡伝達、信頼関係の構築 ・主任の補佐（副主任） 	介護業務の実施管理を行うとともに、問題対応や改善対応も取り組む。管理職の指示を基に業務を遂行できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・介護福祉士 ・法人内研究発表 ・認知症実践者研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・企画力・提案力・改善力 ・S級職員の能力をはるかに卓越したレベルでなおかつ主任に求められる能力 ・リーダーシップ力 ・地域活動の参加、実施 	189,200 円 ～	10,000 円 ～
4	課長	6 年 ～	<ul style="list-style-type: none"> ・所属事業所の管理 ・他事業所への協力体制の構築 ・安定利用者数の取り組み ・人事の担当 全職員の労務管理 	事業所の管理責任、人事の担当、全職員の労務管理	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症実践者リーダー研修 ・喀痰吸引研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導職の能力を超えたレベル ・運営力 ・分析力 ・部下育成力 ・他事業所への協力体制の構築力 ・地域活動の積極的参加 ・地域渉外活動の実施 	200,000 円 ～	100,000 円 ～
5	部長	8 年 ～	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての事業所の管理 ・他事業所への協力体制の構築 ・事業所の管理責任 ・人事の担当、全職員の労務管理 	すべての総括的管理	<ul style="list-style-type: none"> ・法人が薦める研修及び資格 ・免許 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導職の能力を超えたレベル ・運営力 ・分析力 ・部下育成力 ・法人の経営の安定化 ・地域活動の積極的参加 ・地域渉外活動の実施 	300,000 円 ～	査定による

※評価 チェック項目による所属長（主任、課長、部長）の評価をもとに、施設長の評価等総合的判断を行い決定する。

※昇給する条件 号数、職位が、上がるためには、❶求められる資格、免許、の習得。研修を修了している。もしくは同等の成果を上げている。❷基準となる評価に達している。❸求める能力をすべて習得している。❹各主任の推薦尚且つ課長、部長、施設長の評価等、総合的判断を行い決定する。

例) 介護職員がS級職員に上がる為には、

①OJT研修、OFFJT研修、認知症基礎研修、法人内研修への積極的参加を受講し終了している。もしくは同等の成果を上げている。

②基準となる評価に達している。

③求める能力・基本介護技術・日常生活支援技術・介護記録作成・送迎方法・送迎シフトの理解・接遇マナー・コミュニケーション力の習得

①②③の条件、各管理者の推薦、施設長の評価の全てをクリアしていることを条件としている。

※必要な資格・免許・研修及び能力に関しては今後必要と判断される資格、免許、研修の追加を行う場合がある。

※介護福祉士の資格を所持しているものは、指導力、経験年数により資格手当として5,160円～8,600円支給する。パート職員には、勤務時間の割合で支給する。

※扶養手当（家族手当）は、月給支給する。条件として、社会保険の被扶養者であり中学までの子。支給額は、一人5,000円とする。

給料表

1 等級		2 等級		3 等級	
号数	基本給	号数	基本給	号数	基本給
1	172,000	1	180,600	1	189,200
2	173,720	2	182,320	2	190,920
3	175,440	3	184,040	3	192,640
4	177,160	4	185,760	4	194,360
5	178,880	5	187,480	5	196,080
6	180,600	6	189,200	6	197,800